



タイトル

「世界遺産の海」を思う気持ちをつなぐ

自治体名 福岡県宗像市
人口 9.673万人
担当部署 経営企画部 経営企画課

現状・課題

- 宗像市は4つの島を有しており、その一つである沖ノ島の持つ文化的伝統は約15年にわたる市民を中心とした推進活動の末、2017年7月にユネスコ世界文化遺産に登録された。また、2020年度には「世界遺産の海」をテーマとしたSDGs未来都市に選定されるなど、豊かな環境保全と賑わい創出の好循環を生み出す持続可能な地域づくりに努めている。
- 一方で、それらの活動について市内外での周知が進んでおらず、より多くの市民・事業者が市の取り組みを知ってもらい、SDGs推進を行いたいと考えている。

2030年に向けたビジョン

「世界遺産の海」の伝統を市民全体で守り、「ときを紡ぎ躍動するまちむなかた」へ

- 海の保全を含めた宗像市が行っているSDGsの取り組みについて市職員・市民の誰もが知っており、自他ともに「宗像といえばSDGs」と言えるようなまちづくりを近隣の企業や地域団体を含めた多様なステークホルダーとともに進めている。

経済

- 水産資源の6次産業化などを通じて企業や地域団体とともに経済の持続可能性と環境保全を両立させる。

環境

- 「世界遺産の海」を多くの関係者とともに守り続けていくことができる。

社会

- 「世界遺産の海」「SDGs」の取り組みについて市民がシビックプライドを感じる。

ダイアログのポイント

- 「世界遺産の海」を切り口としたPRや、PRに繋がるような海の環境保全についての事業を共に実施できる企業。
- 宗像市に隣接し、同じくSDGs未来都市に指定されている福津市とともに広域でのSDGs推進について企画・提案できる企業。
- 水産資源の6次産業化などを含めた、海の環境保全に関する提案ができる企業。

SDGsダイアログ ダイアログシート

タイトル

高齢化社会における地域コミュニティと一人暮らし高齢者世帯支援

自治体名 佐賀県基山町
人口 1.741万人
担当部署 総務企画課

現状・課題

- 基山町の老年人口割合（65歳以上）は、推計値で2020年に30%を超過、2035年には40%に達し、佐賀県及び全国よりも早いペースで高齢化が進行する予定である。
- アクセスのよいベッドタウンとして同世代の住民が一気に流入したが、今後子供は町外へ流出し夫婦のどちらかが先立つ事で、近くに身寄りのない一人暮らし高齢者が急増することが予想されている。そのため、孤独死などの問題が生じないように対策を講じなければならない状況である。

2030年に向けたビジョン

コロナ以降も、高齢者を含めた誰もが安心して住み続けることができるまち

- 現在も緊急通報システムの家へへの設置や弁当の宅配による安否確認など、高齢者の安否確認に対するサービスはあるが、全員が利用できているわけではない。
- 今後の高齢化社会に適応した、新たな地域コミュニティの維持・活性化を行うことで、誰一人取り残さず、安心な暮らしを送ることができる。

経済

- 町のなかに多世代が暮らし、多様なサービスが成り立っている。

環境

- コンパクトでエネルギー負荷の小さな都市生活を享受している。

社会

- テクノロジーを活用し、安心して老い、暮らせる社会が実現している。

佐賀県基山町



ダイアログのポイント

- 新しい生活様式を踏まえた自治会の運営や、安否・健康状態の確認などのソリューションを提案できる団体。
- 情報弱者になりやすい高齢者なども活用できる、地域コミュニティ運営の支援ツールやシステムを構築できる団体。
- 中長期的に基山町に関わり、一部の地域での実証実験レベルから全町展開までの構想を描ける団体。